

NEWS LETTER



京都教育大学

Kyoto University of Education

第35号(2017.7.24)

附属教育実践センター機構

Organization of Educational Research and Practice Centers

教育支援センター

Educational Support Center

<http://cert.kyokyo-u.ac.jp/>

大学訪問について

5月31日(水)	京都市立桃陽総合支援学校 3年生 10名 学生ボランティア 2名
目的	キャリア教育の一環として、大学訪問を行い自らの進路について主体的に考え、進路希望実現に向けて積極的に取り組む
内容	大学紹介、附属教育実践センター機構棟内見学、質疑応答、学食での昼食、キャンパスツアー
6月6日(火)	木津川市立木津第二中学校 3年生 25名 学生ボランティア 6名
目的	進路学習の一環として、大学訪問を通して自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、自らの意思と責任で進路を選択決定する能力・態度を身につける
内容	授業参観(初等教育実践基礎演習) 大学紹介、学食での昼食、キャンパスツアー、質疑応答、レポート作成
6月8日(木)	宇治田原町立維孝館中学校 2年生 12名 学生ボランティア 2名
目的	進路指導の取り組みの一環として大学訪問を位置づけ、大学を訪問することで大学の特色や内容を知り、自らの力で進路を考え、切り拓く力を養う
内容	大学紹介、附属教育実践センター機構棟内見学、学食での昼食、キャンパスツアー
6月15日(木)	久御山町立久御山中学校 3年生 12名 学生ボランティア 2名
目的	「総合的な学習の時間」に ①進路学習 ②協働学習 ③言語活動の学習 を目的として高校、大学訪問を実施
内容	大学紹介、附属教育実践センター機構棟内見学、質疑応答、学食での昼食、キャンパスツアー
7月4日(火)	京都市立九条中学校 3年生 6名 学生ボランティア 1名
目的	キャリア教育の一環として大学訪問を行い自己の生き方や進路を考える機会とする
内容	授業参観(初等教育実践基礎演習) 大学紹介、学食での昼食、キャンパスツアー

5月から7月にかけての3ヶ月間で、5校65名の中学生が本学を訪れ、延べ13名の学生にボランティアとして関わっていただきました。この時期は3・4年生ともに実習期間が重なっているため、キャンパスツアーに協力してくれる学生ボランティアを集めるのが大変で、うち2回は、大学院生にお願いしました。また、初めて学校案内を経験する1年生には、「スクールボランティア、中学生学校案内のしおり」を配付して、事前指導を行いました。

中学生の学校案内を経験することで、実習とは違った中学生の実態にふれることができ、学生たちは、「中学生と接する経験ができてよかった。」「中学生がとても素直だった。」というプラスの感想を持ってくれています。大学訪問をしてくれた中学生たちに、京都教育大学の素晴らしさを伝え、将来「京都教育大学に入学したい。」という生徒が増えることを願っています。

“性と生”に学ぶ「人権に基づく性教育」シリーズ (ご案内)

日時：平成29年8月5日(土) 14:00~16:30 (受付 13:15~)

会場：附属教育実践センター機構棟2階 未来教室対応・高度化授業研究室

テーマ：ひとは違っているもの ~ “多様性” について知る~
文科省「性的マイノリティ通知」を授業にするために

理論：関口久志(教育支援センター教授)

模擬授業：大江亜紀子さん(京都性教協)、竹花 惇 さん(京都性教協)

内容：2015年4月、文部科学省は「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒にきめ細やかな対応等の実施について(教職員向け)」通知を出しました。しかし宝塚大学日高教授の調査では、授業で扱った教員は14%にとどまり、「先生がいじめ被害にあったとき役に立ってくれた」という答えもわずか19.9%でした。そこで、今回は中高生向けの性教育学習を模擬授業で紹介します。

“性と生”に学ぶ「人権に基づく性教育」シリーズ (ご報告)

教育支援センター主催「人権に基づく性教育」シリーズを7月1日(土)に与謝野町知遊館にて行いました。テーマは「生きる希望を育てる“いのちの授業”~学校と家庭で育てたい生きる基礎力~」で講師は、よくご存じの元小学校教員の金森俊朗さん(いしかわ県民教育文化センター理事長、日本生活教育連盟拡大常任員)でした。

誰もがからだやいのち、人権、人間の尊厳が大切にされ、生きる希望をもって幸せになっていくために学校や家庭でどんなことができるのか。金森先生が命の授業で実践してこられた「自分や周りの人すべてが世界にたったひとりの個性的で奇跡的な存在なんだといういのちをとらえる学び」「いのち、人間存在を学ぶ」ということを学びました。

参加者は34名(教員13名、元教員5名、福祉・行政関係者3名、介護職員1名、教育・発達等相談員4名、看護師1名、一般7名)で、その感想にも「我が子が生まれた時、おなかにいた時の幸せな気持ちを思い出しました」「生をつなぐことの大切さを感じることができました」「いのちの危機に着目していのちの大切さに気づかせることができる授業をしてみたいと思いました」「一人で生きていく力を育てるのではなく、人とつながり生きていく力を育てていきたい」などの感想もあり、幸せに生きるための性教育について、理解が深まりました。

幼児教育専攻学生による board deco



「虫とり、大好き」

機構棟玄関正面の貼り絵は、季節とともに変わります。
かわいらしい貼り絵を見に来てください。

教育支援センター

センター長/モラル・人権意識向上教育部門

教育実践連携部門

実地教育部門/就職・キャリア支援部門

実地教育部門/就職・キャリア支援部門

実地教育部門/就職・キャリア支援部門

実地教育部門(兼任)

関口 久志 075-644-8326 sekihis@

樋口とみ子 075-644-8337 tomiko@

西井 薫 075-644-8806 kaoru@

岡田 敏之 075-644-8214 okada@

飛田 祥 075-644-8216 tobita71@

小山 宏之 075-644-8281 koyama@

ボランティアオフィス 075-644-8336 (月~水・金 10時30分~13時30分、木 10時30分~14時30分) sien@

学校運動部活動指導者育成室 075-644-8143 (月~金 10時~13時 14時~15時) bukatu@

事務担当：研究協力・附属学校支援課 研究協力・センター機構支援グループ kenshien@

TEL 075-644-8335, 8242 FAX 075-644-8339 E-mail cert@

